

No.512

水谷東公民館だより

ひがし

編集 水谷東公民館だより編集委員会
発行 水谷東公民館
〒354-0013
富士見市水谷東2-12-10
TEL 048-473-8717
FAX 048-471-7555
E-mail: fkm-hi@krc.biglobe.ne.jp

暑すぎる夏も終わり、すっかり秋へと季節が移り変わりました。秋といえば皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。芸術、スポーツ、食べものなど様々かと思えます。さて、水谷東文化祭が4年ぶりに帰ってきます。11月18日(土)、19日(日)の二日間で開催されますので、ぜひ皆さん足を運んで芸術、スポーツ、食べものなどを楽しんでいただきたいと思います。公民館だより編集委員会「喫茶するぼ」の出店を行います。手作りケーキセットをお楽しみに。

水谷東文化祭

～交流の輪を広げ 誰もが笑顔で～

第39回水谷東文化祭

期日：11月18日(土)
19日(日)

会場：水谷東公民館
主催：文化祭実行委員会
水谷東公民館



公民館だよりのカラー版をスマホで検索!

第39回 水谷東文化祭

実行委員長 川上 伸夫



水谷東地域でも4年振りという冠をつけ、長年続けられてきた交流・親睦事業が、住民皆さまの期待に応えて復活してきましたことは承知の通りですね。

水谷東文化祭も地域のイベントの進捗に合わせて、また、公民館利用団体の皆さまの意向に沿って、今年度久しぶりに第39回として開催することとしました。

例年常連として参加されていた団体でも、3年間のブランクがあり、会員数の変化や運営上の各種事情から参加数の減少が見られます。とは言え日頃からの継続した活動の成果発表の場として「交流の輪を広げ、誰もが笑顔に」をサブテーマに掲げ、大いに盛り上げられた文化祭となるよう期待するところであります。

静かな秋の一時、力作の揃った展示・華やかな競演の舞台・賑やかな模擬店へと、皆さまお誘い合わせてお出掛け下さい。



のぼり旗がお迎えします

舞台 部会長 牧 寿夫

今年の舞台部会の参加団体は、久しぶりということで団体数が少なく心配しましたが、土曜日はセミプロに値するコーラス2団体、午後からはホールを使って地域のスポーツ団体のパフォーマンス。日曜日にはのど自慢の皆さんのカラオケなどで楽しんでください。

参加者は汗をかき、笑い、練習をしてきました。地域の仲間です。近所の友人です。練習の成果を発表します。ぜひお誘いあわせの上お越しいただき、仲間を激励してください。皆様の声援が一番の良薬です。活を入れて元気を入れてください。頑張ります。文化祭は地域の住民一人一人が主役です。皆様のお越しを出演者全員でお迎えいたします。楽しい文化祭にいたしましょう。



パワーアップ体操



コールあじさい♪

展示 部会長 久保田 利明

今年の展示部会は11団体が参加となります。4年ぶりの開催になりますが、絵画・写真・書道・生け花・絵手紙と幅広い分野の展示を行います。各サークルの力作がそろっていますので、この機会にぜひ作品を觀賞していただき、地域の交流を深め、楽しいひとときをお過ごしいただけたらと思います。思い出に残る文化祭になりますように、皆様のご来場を展示部会一同、心よりお待ちしております。



みずき会(生け花)



扇珠会(書道)

模擬店催事 部会長 松島 義昭

子どもたち集まれ! 射的コーナーもあるよ!

模擬店催事部会の出店は、今年は8団体です。

今年は猛暑日が続きましたが、ようやく秋らしくなりました。

公民館前庭では、豚汁・プリン・落花生・くじ・綿菓子・お菓子・飲み物、子供たちが喜びそうな模擬店が並んでいます。また、館内「喫茶コーナー」では、公民館だより編集委員の方々が手作りケーキ・コーヒー他を販売しています。売れきり前には是非お立ち寄りください。

公民館前庭では、今年もみずき会が小学生対象に「子ども生け花体験」を行います。新たに3丁目町会より「射的コーナー」を設けます。たくさん景品をゲットしてね。また熟年学級が「ペタンク体験」も行います。

模擬店催事部会一同子どもたちから高齢者の方まで楽しめるよう、お客さまをお待ちしています。



手作りケーキがいっぱい

ひがしの窓 11月

Table with 3 columns: Date, Location, Event. Includes events like '子どもサロン「みつば」', '資源回収・定例会', '子ども七宝焼教室', etc.

※この予定表は10月10日現在の予定です。詳細は各団体・機関に問合せください。

公民館の利用について

- 【11月分の利用受付】
◎予約システム抽選申込期間 10月15日(日)~31日(火)
◎抽選日(自動抽選) 11月1日(水)
◎抽選結果の確認期間 11月1日(水)~4日(土)
◎窓口受付開始日 11月6日(月)午前9時~
◎システム仮予約受付開始日 11月7日(火)
※仮予約の有効期限(15日間)にご注意ください。
【11月の休館日】11月20日(月)

【感染予防対策の緩和について】

- ①施設入口での手指消毒は継続
②マスク着用は自己判断
③換気はご協力おねがいします
④消毒、検温備品は貸し出します
⑤利用者名簿の提出不要
⑥利用定員制限は解除

！コロナ感染状況により、中止となる場合もあります！

水谷東ふれあいサロン情報

- ホッと安心健康相談
日時：11月2日(木)午後1時30分~3時30分
●水谷東子育てサロン
日時：11月1日(水)午前10時~11時30分
☆パネルシアター(秋元節子さん)
●ふれあいサロン開放日
日時：11月8・9・15・16・22・29・30(水・木)午後1時30分~4時

熟年学級 11月全体会

日時 11月9日(木)午前10時~11時30分
会場 水谷東公民館 多目的ホール
テーマ 生活習慣予防について(富士見市出前講座)
講師 小畑 あゆみさん(富士見市立健康増進センター管理栄養士)
主催 熟年学級運営委員会・水谷東公民館

あの感動をもう一度！
2023, 水谷東音楽の夕べ

日時 12月2日(土) 午後4時~5時
※終了後、イルミネーション点灯式
会場 水谷東公民館 多目的ホール
出演 東海林 尚文(テノール歌手)他
定員 60名(11月2日から先着順)
申込・問合せ 水谷東公民館(☎048-473-8717)
主催 水谷東4町会 水谷東公民館

訃報/柳楽光廣さん(榎町)を偲んで

元榎町町会長の柳楽光廣さんが8月28日、逝去されました。享年87歳。柳楽さんは、文字通り榎町町会活動のリーダーのおひとりとして尽力されました。また、水谷東公民館だより編集長として長きにわたり活躍。編集委員として歴代最長の21年間務められました。いつも穏やかで笑顔の絶えないお人柄。音楽が大好きで、ハスキーボイスでカラオケを熱唱される姿が懐かしく思い出されます。謹んでご冥福をお祈りいたします。

(編集委員会)

No.102

思い出の場所 気になる所

「Yungaburra, Australia」

オーストラリア北部クィーンズランド州に位置する小さな村。この夏、畜産ティーン育成プロジェクトに参加し、全国から集まった20人とオーストラリアへ研修に行きました。

この村にはファームステイで8日間お世話になったご夫婦のお家がある場所です。村の中心部には娘さんが経営するホテルと息子さんが経営するスーパーマーケット。広場で楽しそうに演奏する人々。自然豊かで広大な土地に放牧された牛。夜には空いっぱい綺麗な銀河や星が見えます。

この土地でファームステイができてよかった。オーストラリアで異文化に触れ、畜産をより好きになることができてよかった。そう思わせてくれる場所です。

この景色や経験は今後も忘れることはないでしょう。これからは畜産の魅力を全国に広める、畜産アンバサダーとして活動しつつ、また大きくなってこの土地に戻ってきたいです。

ぬん(1丁目)

統計ひがし

(R5.8.31現在)

Table with 6 columns: 町会, 世帯, 人口, 男, 女, 増減. Rows for 1丁目, 2丁目, 3丁目, 榎町, 合計.

※増減は前月(R5.7.31)人口比です。

11月の展示

フォトサロン写楽

公民館2階
展示ギャラリーにて
(11月中旬まで)

coffee time



和光富士見バイパスが開通して2ヶ月が過ぎました。たった1.4km伸びたところで何も変わらないだろうと想像していましたが、アコレ前の道路のスムーズさを感じている人も多いと思います。実際に、夜中に大型車が通るたびに地震かと勘違いして起こされていた人が、家が揺れなくなったと喜んでいました。ただ、毎日その道路を横切って通勤する身としては信号にかまる時間が死活問題だったので、計ってみたところ1分38秒。意外と短くて安心して今日もギリギリに家を出るのでした。(福島編集委員)

私は昭和49年に大学を卒業。初任給は約10万円です。50歳過ぎに給料は5倍程になった。正に日本経済の絶頂期。その後はバブル崩壊に伴うデフレ経済で「失われた30年」に突入。残ったのは国債債務1兆円だ。経済低迷の原因はいろいろあるが、一番の原因は政府の長期展望のなさだと思つた。少子化問題については、現在40代、50代の団塊ジュニアと呼ばれる就職氷河期世代が圧倒的に非正規労働者で、気の毒なこと

日本復活のために

伊藤 勝義 (1丁目)

今さら政府が少子化対策をしても遅い。更に最近の10代、20代には詐欺、高級時計店への強盗事件は、現在の日本を象徴する深刻な案件だと憂慮している。このまま我が国が泥沼に陥る前に、若い世代の人々は日本復活のために頑張らなければならない。